

マツモ種苗生産について	
ねらい:	天然採苗が中断しているマツモ養殖について、養殖漁業者の間に根強い再開要望があるため、採苗率が安定しない天然種苗生産体制の再構築と人工種苗生産技術の確立を図る。
成果の特徴:	①洋野町地先で実施した天然種苗生産は処理、無処理とも、座の生長と直立体の形成は良好で、その差異はなく、県内に養殖試験用種苗として全て配布した。 ②人工種苗生産に使用する糸素材として、天然繊維と化学繊維を比較すると、天然繊維上の座の生長が良好であった。
成果の活用面:	養殖用種苗生産の安定化が図られることによって、養殖の生産増大が期待される。

[具体的データ]

表 平成18年度天然種苗生産結果

設置前の処理	設定		種苗生産		
	採苗器規格(m/器)	採苗器数(枚)	生産予定数(m)	使用実績数(m)	使用率(%)
処理	400	10	4,000	4,000	100
無処理	400	18	7,200	7,200	100

*処理：漁場設置前に予め胞子を付着させた。

図1 天然漁場での採苗器管理の様子



表2 天然繊維と化学繊維の比較結果(平成18年度)

系の素材	設定	種苗生産		使用率(%)
	巻き込み数(m)	養殖試験使用数(m)		
天然繊維	304.8	200.0	65.6	
化学繊維	475.2	0.0	0.0	

担当者 連絡先	増養殖部 主任専門研究員 小野寺光文 TEL0193-26-7917 FAX0193-26-7920 〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号 ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/
------------	---